１．指標の検討　（２）評価対象技術と指標

◆ 前ページで示した個別課題に対応する技術の進展を評価するための代表的な指標は以下の通りである。

- o 「ｂ．社会指標（実装）」については、それぞれの技術またはそれを応用した機器・製品の普及状況を指標とする。
- o 本領域においては、すでに普及率が計測・予測されているスマートメータやHEMSについてその普及率を社会指標として取り上げる。

計画に例示された個別課題	個別課題に対応する技術	指標			出所
		b.社会指標（実装）	c.技術（システム全体）	d.技術（要素技術）	
社会インフラ（電力、ガス、水道、交通等）と一体化した巨大ネットワークシステム	社会インフラ管理技術		・－	・開発状況 ・センサーによる社会インフラモニタリングシステム ・維持管理情報プラットフォーム	NEDO・スマートコミュニティアライアンス 日本再興戦略 国立環境研究所「2013年以降の対策・施策に関する検討小委員会における 議論を踏まえたエネルギー消費量等の見通しの仮試算」（2013年以降の対策・施策に関する検討小委員会（第14回）2012年3月28日資料） 国土交通省「社会資本の老朽化対策会議」資料
	スマートグリッド関連技術	・スマートメータの普及率 ・HEMSの普及率	・－	・開発状況 ・送配電系統の監視・制御技術 ・需要家側のエネルギーマネジメント技術 ・系統の効果的な運用が可能となる先進技術 ・先進的なインターフェイス技術	